

Ⅱ 鹿沼市版もったいない運動^{ばん}

「もったいない」という言葉は、自然や物に対する敬意や愛が込められた日本ならではの言葉です。鹿沼市では、「花と緑と清流のまち」をつくるため、市民と協力し合って人やものを大切にする「鹿沼市版もったいない運動^{ばん}」を進めています。

1 もったいねえ！大事にすんべ 人やもの

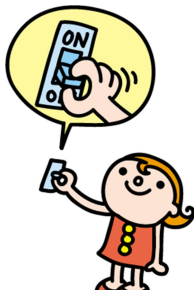
鹿沼市版もったいない運動のスローガンは、「もったいねえ！ 大事にすんべ 人やもの」です。

「もったいない運動」を進めていくためには、家庭や学校などで自分から行動していくことが大切です。

わたしたち市民一人ひとりが、「もったいない」と思う気持ちを忘れずに、人やものを大切にして、環境^{かんきょう}に優しいまちを作っていきます^{やさ}ましょう。

2 市役所の取組

市では、時間やお金をムダにしないために仕事の進め方を見直すとともに、市民の見本となるよう職員一人ひとりが、環境^{かんきょう}に優しい行動をするように心がけています。^{しょくいん}



使わない電気を消す



ごみの分別



マイバッグ利用

3 市民の取組み

(1) 鹿沼市環境活動推進会議

「鹿沼市版もったいない運動」を市民が中心になって進めていくための団体が「鹿沼市環境活動推進会議」です。

この団体には、さまざまな環境分野で活動している人たちが委員として参加しており、「ペットボトル飲料のキャップの回収」、「マイバッグの利用促進」、「レアメタルの回収・呼びかけ」などについて話し合い、活動をしています。

その他には、環境イベント「エコライフ・フェア」を開催し、市民に「もったいない運動」を呼びかけるなど、市と協力しながら運動を進めています。



エコライフ・フェア in 南摩



たくさんの方々に参加していただきました

(2) ペットボトル飲料のキャップの回収

飲み終わったペットボトル飲料のキャップ（ふた）を捨てずによごれを落として集めておけば、リサイクル製品に生まれ変わらせることができます。また、キャップをリサイクル工場などに売ったお金でワクチンを買って、世界の貧しい国々の子ども達の命を助けることができます。

かんきょうかつどうすいしんかいぎ
環境活動推進会議では、集めたキャップの回収場所を増やして
いくなど、みんなが気軽に取り組める環境づくりを進めています。

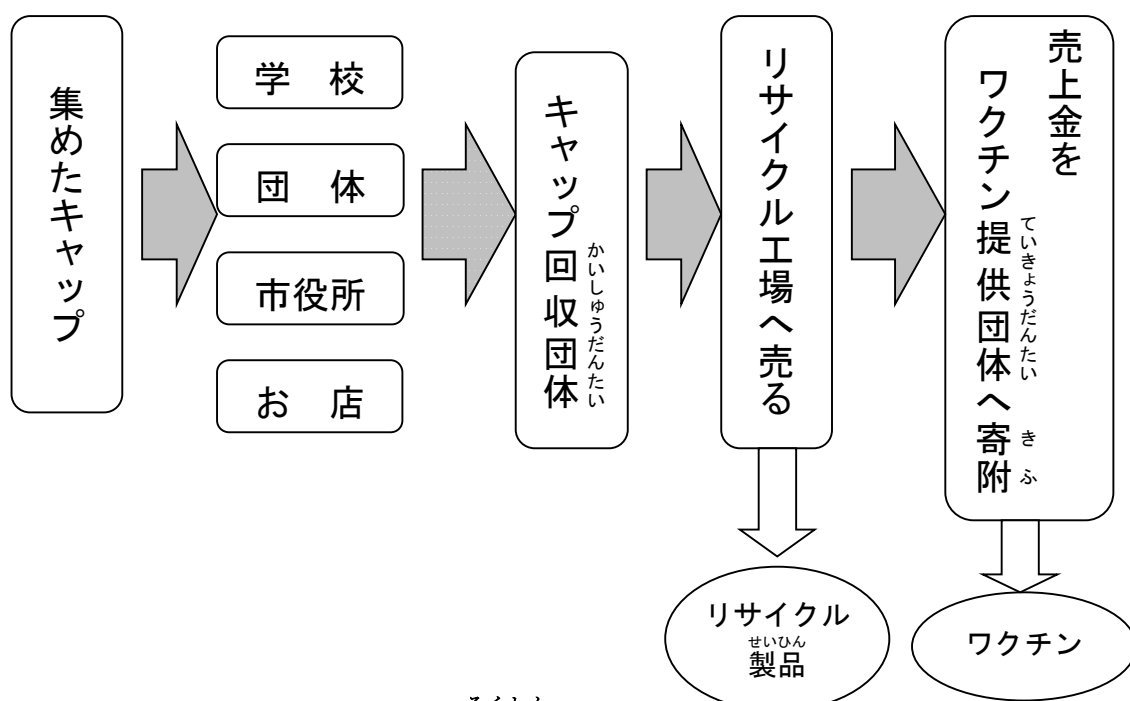


キャップ約 860個で、ポリオワクチン1人分（約 20 円）になります。
これまでに 75 トンを回収（令和 7 年 3 月時点）し、約 33,800 人分のワクチンをワクチン提供団体に寄附しています。

キャップを燃やしたら…

キャップ 860個を燃やすと、温室効果ガスである二酸化炭素が約 6 キログラム発生します。

集めたキャップのゆくえ



(3) マイバッグの利用促進

スーパーなどで買い物をしたとき、
多くの方はレジ袋をもらいます。

レジ袋を作るときや、ごみとして捨てたときには、多くの温室効果ガスが発生します。



そこで、平成 22 年 2 月から栃木県内の一部のスーパーマーケットなどでは、買い物した人にレジ袋^{ぶくろ}を無料で配^{くば}ることをやめて、環境^{かんきょう}に優しいマイバッグを使^よってもらうように呼びかけを行っています。

また、令和 2 年 7 月より、「プラスチック製買物袋^{せい}」が有料化されたことで、日本中でレジ袋^{ぶくろ}の使用をさらに抑^{おさ}える取組が進められています。

環境活動推進会議^{かんきょうかつどうすいしんかいぎ}では、より多くの市民やお店が協力してマイバッグを使うことを進めていくために、スーパーマーケットやイベント会場でのキャンペーン活動を行っています。

(4) レアメタルの回収^{かいしゅう}・呼びかけ^よ

携帯電話^{けいたい}やゲーム機、デジタルカメラなどの電化製品^{せいひん}には、「レアメタル^よ」と呼ばれる貴重^{きちょう}な金属^{きんぞく}が使われています。そのため、古くなったり、こわれたりしたときに捨^すててしまうと資源^{しげん}を捨^すてることになり、とても「もったいない」ことです。

環境活動推進会議^{かんきょうかつどうすいしんかいぎ}では、事業者などと協力して、レアメタル^{ふく}が含まれる電化製品^{せいひん}の回収^{かいしゅう}やその呼びかけ^よを行っています。

～レアメタルが含まれている製品^{せいひん}の例～



携帯電話



デジカメ



ゲーム機